４月始業式にて　～き・ょ・う・し・つ～

校長　塙　守久

　みなさん　おはようございます。須磨東高校から参りました塙守久（はなわ　もりひさ）と申します。みなさんとは、昨年、一昨年前に定期戦でお会いしました。全力でプレーをするし、応援も一生懸命するし、校歌も大きな声で歌うし、友が丘高校の印象はとても元気があって明るい人が多くいい学校だなぁと感じました。そう感じていた素晴らしい学校に来られたことを光栄に思います。これからよろしくお願いします。

　さて、春休みは有意義に過ごせたでしょうか？　３年生は受験生としての心づもり、覚悟はできたでしょうか？　２年生は学校の中心としての心づもり、覚悟はできたでしょうか？　もう後戻りはできません。しっかり覚悟を決めて前に進んでいきましょう。

　私事ではありますが、私は以前、県立神出学園という所の校長を務めておりました。神出学園とは、不登校・ひきこもを経験した１５歳から２４歳の子供たちを支援する公立の全寮制フリースクールです。君たちと同じ年代です。学校に行けなくなった理由は様々ですが、悲しいことに学園生のほとんどの子がいじめ、暴力をうけていました。学校に行かないことがその子にとって最善の場合もありますが、せめて、いじめや暴力がきっかけで学校に行けないという事態は避けたいと思います。そういう理由もあり、私は、いじめ、暴力は決して許しません。皆さんは心配ないと思いますが、もしあった場合は断固たる措置を講じたいと思います。

　学校は安全で安心して過ごせる場所でなければなりません。そのためには皆さんの協力が必要です。皆さんの周りには、いろんなことで悩んでいる人がたくさんいます。なんとか現状で解決できたらいいのですが、ひとりで抱えて、どうしようもない状態になっている人がいるかもしれません。そこで、『き　ょ　う　し　つ』を覚えておいてください。

　き：づき　　よ：りそい　　う：なずき　　し：んらいできる大人に　　つ：なぐ

　そのような人は、きっと普段と違う小さな変化があるはずです。それに気づいたら、まず、寄り添ってください。そして、うんうんとうなづきながら、辛い気持ちを聞いてあげてください。そして、自分ひとりで何とかしようと思わず、信頼できる大人に相談して繋いでください。

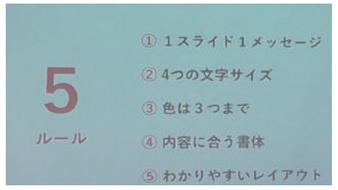
　皆で協力して、誰一人取り残さない安全、安心な友校でありつづけましょう。

🌸 離任・着任された先生方 🌸

先生方の新たな環境でのご活躍をお祈り申し上げます！

お世話になりました！ 転出・退職（敬称略）			よろしくお願いします！ 転入（敬称略）		
校　長	大久保　隆	（ご退職）	校　長	塙　守久	（県立須磨東高等学校）
英　語	大庭　早都子	（ご退職）	数　学	島田　一幸	（県立御影高等学校）
保健体育	青木　理香	（ご退職）	数　学	尾上　崇士	（県立須磨東高等学校）
英　語	山田　由美子	（ご退職）	理　科	松下　嘉良子	（県立洲本高等学校）
数　学	村井　克成	（県立須磨東高等学校）	英　語	新垣　雅永子	（県立伊川谷高等学校）
理　科	山﨑　大地	（県立兵庫高等学校）	英　語	安東　悠希	（県立須磨東高等学校）
保健体育	山﨑　周造	（知事部局スポーツ振興課）	保健体育	小出　眞弓	（県立夢野台高等学校）
保健体育	秋定　秀雄	（県立明石高等学校）	保健体育	寺井　雄	（県立明石高等学校）
英　語	清水　理恵	（県立青雲高等学校）	保健体育	内門　孝太	（県立西宮北高等学校）
英　語	荻野　秀謙	（川西カリヨンの丘特別支援学校）	理　科	竹本　裕子	（県立宝塚北高等学校）
理　科	志村　慎哉	（県立明石北高等学校）	国　語	土手　みさこ	（須磨学園高等学校）
国　語	伊藤　扶桑	（県立飾磨工業高等学校）	主　査	稲森　成美	（県立農業高等学校）
主　査	竹内　裕美	（県立伊川谷高等学校）	主　事	濵﨑　弘江	（県立青雲高等学校）
主　事	奥﨑　美羽	（県立兵庫高等学校）			

【３年次　総合的な探究の時間】　スライドデザイン講演会



　３年次１学期の「課題研究Ⅱ」は、各自が２年次「課題研究Ⅰ」で取り組んだ内容をスライドにまとめ、プレゼンテーション発表を行うことです。３年次１回目の授業は、「スライドデザイン講演会」を実施しました。講師として、神戸芸術工科大学大学院博士課程の大嶋優希子さんにお越しいただき、「伝わりやすいプレゼンテーションスライドの作り方」を教わりました。よい例と悪い例を比較しながら説明してくださり、生徒たちはメモを取りながら真剣に聞き入っていました。６月の各ゼミ内で行う発表会に向けてよいスタートが切れたと思います。

〈生徒の感想〉

・私はいつもページが文字でいっぱいになって、見る人に伝わりにくいプレゼンになっていたことがわかりました。アニメーションを使いすぎないということは驚きましたが、自分が決めた３つの色で「色の濃さ」を変えて目立たせることができ、注目させることに繋がると知れました。

・今回は視覚的に伝わりやすくすることで、発表の成功をより確実にできる方法を学んだ。色を絞る、視線の動きをつくるなど、聞き手が情報の中で迷わないようにするための工夫が多くわかった。プレゼンをサポートするためのものが妨げになってはならないと考えさせられた。

【２年次　課題研究】　課題研究オリエンテーション

　４月 10 日 (木) の５・６時間目に、課題研究の初回授業として全体講演会およびテーマ設定の面談を実施しました。５時間目はセミナールームにおいて、総合学科推進部の先生からテーマの設定についてのお話がありました。春休みの課題として、生徒一人ひとりが 10 個の研究テーマ案を考えてきており、そのテーマが「探究にふさわしいものか」「高校生として価値のあるテーマであるか」を考え直す機会となりました。講演では、実際に先輩方が設定したテーマ事例を取り上げながら、テーマを見つけ出す視点や発展のさせ方、研究の流れについて具体的に紹介され、生徒たちは自分自身のテーマ案と照らし合わせながら、真剣にメモを取る様子が見られました。

　６時間目には、10 のグループに分かれてテーマ設定のための面談を行い、教員との個別面談を通して、自らの関心や視点を深める時間となりました。それぞれの面談では、生徒が用意したテーマ案について対話的に掘り下げることで、新たな切り口を見つけたり、焦点を絞り直したりと、より具体的な研究計画へとつなげる足がかりとなりました。これから始まる課題研究は、１年次の「産業社会と人間」で培った視点を土台として、それぞれの問いを深めていく学びです。今回の講演と面談で得た視点を生かしながら、４２回生の２年次課題研究が本格的にスタートします。

【１年次　産業社会と人間】　グループワーク研修

　４月１８日（金）の５、６時間目は今後の活動の基本姿勢となる第一歩として、産業社会と人間ノートを活用しそれぞれ８つのお題について、グループ毎に話し合いをしました。未来に向かって発展的に生きていくためには答えのない問いに対して様々な意見を出し合って、納得させる力、論理的な根拠を導き出す力が必要なことを実感しました。

〈生徒の感想〉

　僕は「今あるもので３０年後の時代に何を持っていくか」という問題で、想像力や発想力を持っていきたいという意見を出した。理由は AI 時代に今の時代の想像力は通用するのか気になったからだ。案を出すと、自分とは全然違うワインや日記、レアカードなどが意見として出た。僕は物ではなかったので合っているか不安だったけれど、面白い答えと言ってくれて正解はないんだなと分かった。また今回で正解がないことが分かったので失敗を恐れず積極的にグループワークに参加していきたい。その中でグループに参加できていない人がいたら、コミュニケーションを通して意見を引き出せるような関わりをしていきたいと思う。

ハテナソン講演会

　４月 25 日 (金) の５、６時間目に、京都産業大学より佐藤賢一先生をお招きし、「自ら問いを立てる学び方を実践し、対話するハテナソン授業」と題したワークショップを行いました。

　生徒たちは、日常から何気なく浮かんだ「ハテナ」に対して、互いに問いを投げかけ、議論や思考を深めていくといった「問い重ね」と呼ばれるワークを行いました。日常生活に溢れているどんな些細な「ハテナ」でも、問いをぶつけていくことで議論や思考が深まり、いつもは話さない友達と活動することで、いつもの自分では気が付かない発見に触れ、視野が広がったことを実感できたと思います。問いが閉じているか開いているかは簡単にはわからないですが、人、モノとミスマッチが生まれていないかを考えることが大切なことと教わりました。そして「問いの焦点」によって問い自体を掘り下げることで、新しい焦点を見つけることができ、より深く考えることができることを学びました。また佐藤先生の、ヒトのがん細胞を使った原がん遺伝子サークの研究の様子を動画で拝見しました。気さくな話しぶりの裏側にある探究活動の素晴らしさと先生の偉大さを知ることができて、生徒の興味関心を大いに引き出して頂けた講演会でした。

〈生徒の感想〉

　グループワークを通して、話し合いでは、知識を得て学び終わるのではなく、「ハテナ」で広がっていくと実感しました。